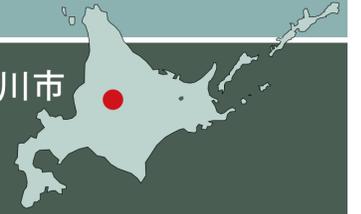


# 常磐公園 (旭川市)

旭川市

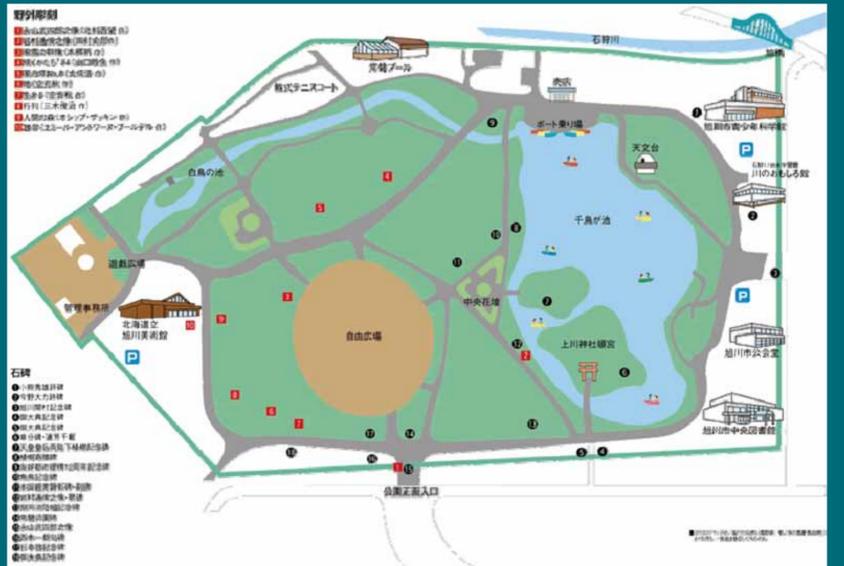


噴水が涼しげな千鳥が池

## 市民の要望により造成されたシンボリックオープンスペース

常磐公園は、明治期の陸軍師団と鉄道の設置にはじまる旭川市の発展を受け、1910(明治43)年に市民の要望によって市街地中心部に造られ、当時から全市的な行事の多くが行われてきた。市の発展や洪水や冷害からの復旧の度に公園は拡充されたが、現在の姿は昭和の終わりに再整備されたものであり、1989(平成元)年に「日本の都市公園100選」に選ばれている。外周の美術館や図書館等の公共施設が、市街地の喧噪から園内を隔離し、巧みにレイアウトされた池や、北国の植栽をより引き立てている。

常磐公園は、地域のアイデンティティを担い続けた空間といえる。近代の都市計画では、都市の中心に大公園を配置することが行われ、常磐公園はこの良いモデルケースといえよう。



常磐公園 平面図

### 概要

名称	常磐公園
所在地	旭川市常磐公園
管理者	旭川市
規模	15.85ha
種別等	都市公園(総合公園)
開設年	1910(明治43)年3月7日
告示年	1956(昭和31)年都市公園告示
1989(平成元)年「日本の都市公園100選」に選定	



園内の鮮やかな花畑